

三原市立三原小学校

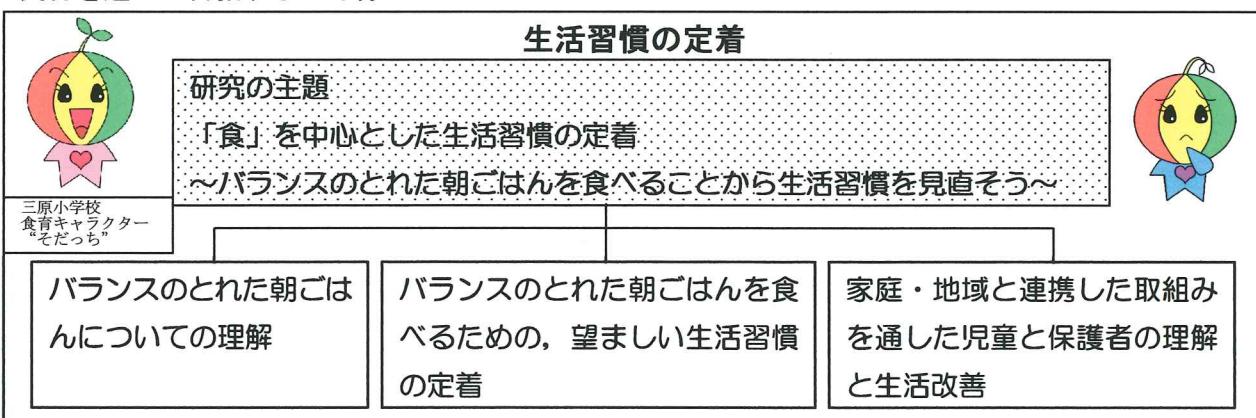
〒723-0004 三原市館町二丁目3-1 電話 0848-62-2165
ホームページアドレス <http://www.mihara.ed.jp/~mihara-es/>

校長 仁田 紀幸

児童数 476名 教職員数 46名

学校紹介 本校は、食育を教育推進の重要な柱として、研究の主題を「食」を中心とした生活習慣の定着～バランスのとれた朝ごはんを食べることから生活習慣を見直そう～とし、取組みを進めてきた。朝ごはんと生活習慣との関わりを理解させるために、地域や家庭と連携し、体験的な学習場面を提供すれば、子どもたちは望ましい生活習慣を身につけ、進んで朝ごはんを食べようとするであろうと考え、実践を重ねている。

■食育を通して目指す子ども像



■取組みの内容

1 食に関する指導の推進

- 全教科・領域における食に関する指導の実施
- 学校歯科医、養護教諭、栄養教諭によるT.Tの授業
- 朝ごはんに着目した生活習慣の定着のための取組み
【解説1】

2 学校全体による食に関する指導

- 食のねらいを明確にした各学年に応じた年間計画の作成と実施【解説2】
- 食に関する実態調査と各学年における生活習慣定着のためのプログラム作成
- 全教職員による食育劇の実施→市内全校へのDVD配布
- 「道徳の時間」における食に関する指導
- 食育講演会の実施

3 地域・家庭との連携

- 食育キャラクターの募集と活用
- PTA、三原市、食生活改善推進連絡協議会との連携
【解説3】
- 広島県栄養士会との連携



全教職員による食育劇の実施

食に関する指導のねらいを明確にした各学年の年間指導計画を作成し、給食時間だけでなく、各教科、総合的な学習の時間等で取組みを行ってきた。全教職員で食育劇を実施したり、道徳の授業を行ったり、児童の意欲を実践に導くことができた。

■学校からのひと言

平成19年度文部科学省「児童生徒の生活習慣と健康等に関する調査研究」実践中心校

解説 1

朝ごはんに着目した生活習慣の定着のための取組み

第1回 実態調査（クロス集計の結果）

朝ごはんを毎日食べる児童ほど、「学校に行くのが楽しい」、「勉強することが楽しい」と答えている。（P値 0.05 以下）

↓
食育劇による意欲付け

自分の朝ごはんを見直す点検週間の実施
(毎月19日をはさむ1週間)

「朝ごはんと生活習慣」に関する授業の実施



旬の食材を冷蔵庫で紹介

食生活活動教材を活用した「金メダルの朝ごはん」献立作成と調理。ちびっこシェフの朝ごはんレシピ集の作成。

給食時間における食べ物の赤・黄・緑を理解するための食べ物クイズの実施やランチマットの作成（家庭科）と活用

「金メダルの朝ごはん」を食べるための旬の食材の紹介
(冷蔵庫の展示、おたよりの配布等)

第2回実態調査結果

朝ごはんに3種類以上食べている児童、健康に関する専門家、教職員の話を生活に活かしている児童が増加している。

解説 2

各学年に応じた年間計画の作成と実施

学校歯科医、養護教諭、栄養教諭の専門性を活かした学年に応じた指導



“金メダルの朝ごはん”を食べよう



ムキムキレッド、パワーアイロー、おたすけグリーンがそろうと力を発揮するよ。



解説 3

食生活改善推進連絡協議会との連携

三原市と三原小学校PTAが共催で夏季休業中を利用して親子料理教室を開催した。地域の産物“たこ”や“かんてん”を使用した郷土料理を教えていただいた。たこのぬめりを簡単に取るにはどうしたらよいのか調理のポイントも教わった。

